

# 認定!



## 〈番外編〉 菊人形師



神谷 重明 さん

(高浜市神明いきいきクラブ)

# 菊人形の伝統を今に 伝える『生き字引き』



熟練の技で菊人形を仕上げる

高浜市吉浜は、菊人形をはじめ、人形作りの伝統が盛んな地域です。

江戸時代、当地の村人たちは豊作を祈願し、刈り取った綿の実で「綿人形」を作り、神社に奉納していました。この綿人形が姿を変えて菊人形となり、明治時代、吉浜ゆかりの「菊師」が日本中に菊人形を広めました。

神谷さんは、

中学を卒業して

から59年間、菊師ひと筋の大ベテラン。九州から北海道まで、

日本全国の菊人形展で腕を振るってきました。

「菊人形の題材は、歌舞伎や時代劇が多いですね。その年に放映されたNHK大河ドラマを題材にすることも少なくないですね」と、神谷さん。

菊の組み合わせでいかに華やかに見せるかが腕の見せどころ。「きれいですね、と言ってもらえるのが、仕事のやり甲斐です」。菊人形に使う菊は、茎に粘りがあり、加工しや



本年度の名古屋城菊人形展にて

すい専用の菊。神谷さんはこの菊の栽培も行っています。

毎年11月に地元の高浜市で開催される『人形小路菊まつり』では、人形小路一帯が菊花で彩られ、菊人形展や菊花名作展などが開催され、大いに賑わいます。

「これからも、この素晴らしい伝統文化を守り、育てていきたいですね」